

海岸まちぢから

住んで良かったまちづくり

第6号

発行日 令和3年6月15日 第6号

発行人 海岸地区まちぢから協議会

会長 林 正明

海岸地区コミュニティセンター

TEL 0467-82-6618

印刷 ストリートファクトリー

TEL 0467-81-5594

年度ご挨拶

海岸地区まちぢから協議会
会長 林 正明



今年は暖冬に始まり、梅、桜の開花も例年よりも3週間以上早く、畑の野菜も順調に育っています。

いつもの年ですと、この季節の私の楽しみは、妻と二人で箱根方面へドライブに行き、国府津の国道沿いの「のんき亭」で地魚定食を食べ、箱根の旧道七曲りをとおり、沿道の燃えるような新緑を楽しみ、湯元の「天成園」で温泉に入り、小田原新宿の「ひもの横丁」で、魚とイカの塩辛を買い、大磯の「井上蒲鉾店」で、さつまあげを買って帰り、地酒の丹沢山で一杯やるのが最高の楽しみでした。

しかし、去年と今年は新型コロナウイルスのため止めました。皆様も私と同様に、残念で悔しい思いをされていると思います。

令和2年は新型コロナウイルス感染防止対策の為、市や海岸地区の行事はすべて中止となり、会議体においても、中止や書面会議となりました。

令和3年に入っても、感染は一向に終息の状態は見られず、唯ひたすらに、ワクチンの接種を待ち望む私達です。国民の1%にも満たない接種率の日本で、政府や東京都の責任者達はオリンピックを実施するんだと言い続け結論を先延ば

しています。最優先にすべき事は、国民の生命と生活を守る事ではないでしょうか。

私は、このコロナウィルスによるパンデミックは人災であると思います。未開の大森林を焼き、温暖化によりシベリアの凍土を溶かし、奥深くに眠っていた動物達や細菌、ウィルスをあぶり出した結果です。人類だけが持っている金銭欲、名誉欲、権力欲を捨てないまでも、極力抑えて地上の動植物達と共存、共栄する地球を再現する事が、私達人類の責任だと考えます。100キロの金塊よりも100キロの米、ジャガイモを大切に作る気持ちを持ちたいものです。

海岸地区まちぢから協議会といたしましては、今まで以上に地域のコミュニティとして、住民の方の安心、安全を目指し、住んで楽しい街づくりのために汗を流したいと思います。

掲示板も令和3年度中には合計14ヶ所の設置が決定し、雄三通りの歩道のバリアフリー化も令和2年度から県工事として一部実施され、今年度も引き続きの施工が決まりました。また、感震ブレイカーも全自治会会員宅の70%以上に設置され、目標をほぼ達成いたしました。

今年度も前年度と同様に各行事やイベントは中止になると思いますが、来年度には実施出来る様に、しっかりと準備してまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

海岸地区まちぢから協議会には広報部会、防災安全部会、イベント企画部会が組織され、それぞれ、まちぢから協議会の活動の一端を担っています。

防災に関する資格を持っている、写真撮影が趣味、ホームページを作ったことがある、広報紙発行の経験がある方などで、まちぢから協議会の活動に関心のある方のお力を求めています。ぜひご参加ください。

ご参加いただける方は、メールアドレス

kaigan.machidikara@gmail.com にご連絡ください。

部会員募集!!



広報掲示板設置事業について

海岸地区まちぢから協議会では、2018年の発足以来、ホームページ、広報紙、回覧チラシなどを用いて活動状況及び地域情報を地域の皆さまにお知らせしています。さらに、回覧が回らない自治会未加入の方や、ホームページを閲覧することができない方に対しても地域情報をお知らせするための装置として、地域内の各所に広報掲示板を設置する事業を進めてきました。

掲示板設置場所は、目につきやすいこと、立ち止まって閲覧する方の交通安全などを考慮した場所を各自治会から提案していただき、2018年度と2019年度は茅ヶ崎市の認定コミュニティ特定事業助成金によって、次の7ヶ所に設置しました。

【2018年度】 ①高砂緑地南側(北1)、②東海岸南第3公園(南3)、③ほし潮香公園北側(南4)、④東海岸南第5公園一中通り側(南6)

【2019年度】 ①雄三通り会館前(南1)、②北三丁目防災倉庫(北3)、③海岸地区コミュニティセンター北側(北5)

2020年度は茅ヶ崎市の財政難のため市の助

成金が見込めなくなり、日本宝くじ協会による一般コミュニティ事業の助成金を申請したところ採択され、2021年度に次の6ヶ所に掲示板を設置します。

①茅ヶ崎海岸郵便局北側(北1)、②鉄砲道・CSアパート前(北2)、③一中通り北5交差点付近(南2)、④東海岸北第4公園東側(北4)、⑤北5みんなの広場入口(北5)、⑥プレシャスT・S南側(南5)

2021年度はこの他に自主財源を活用した1ヶ所を加えて、掲示板の設置数は合計14ヶ所となり、この事業の第一段階の目標としていた“東海岸地区の全自治会に掲示板を設置する”ことが実現出来ることとなります。設置場所をご提供くださった皆さま及び茅ヶ崎市の担当部署のご支援ご協力に、心から感謝します。

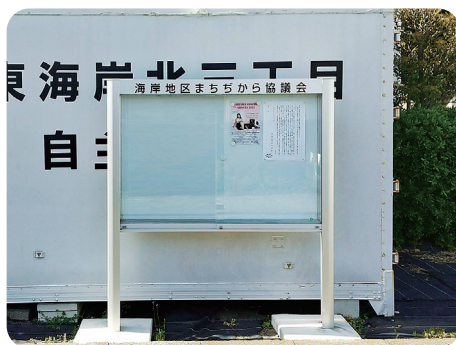
掲示板は、災害時にも最も確実な情報発信の装置となることが想定され期待できます。また、コロナ禍にあって手渡しの回覧版を中止した自治会では、広報のツールとして機能しました。

今後も更に数ヶ所の掲示板設置を計画していきたいと考えています。

(掲示板グループ 今泉 勲)



雄三通り会館前

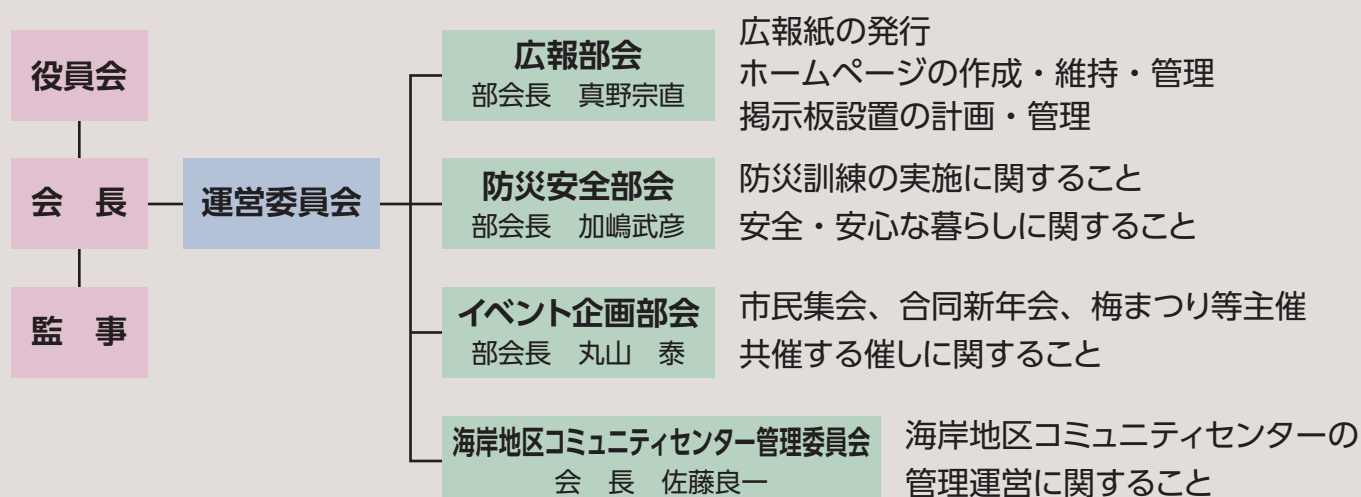


北三丁目防災倉庫



海岸地区コミュニティセンター北側

海岸地区まちぢから協議会組織図 (2021年6月現在)



2021年度運営委員一覧

役 職	氏 名	所 属
会 長	林 正明	東海岸北二丁目自治会
副会長	真野 宗直	東海岸南三丁目自治会
副会長	丸山 泰	海岸地区民生委員 児童委員協議会
書 記	今泉 勲	東海岸南一丁目自治会 東海岸小学校区 青少年育成推進協議会
会 計	石井 正憲	推薦委員
監 事	渡辺 功	東海岸北一丁目自治会
監 事	鈴鹿 隆司	海岸地区社会福祉協議会 東海岸北五丁目自治会
委 員	米井 博之	東海岸北三丁目自治会
委 員	渡辺 末一	東海岸北四丁目自治会
委 員	大野 茂生	東海岸南二丁目自治会
委 員	加嶋 武彦	東海岸南四丁目自治会
委 員	島田 渡	東海岸南五丁目自治会
委 員	和田 智弘	東海岸南六丁目自治会
委 員	小林 正尚	パンフィックガーデン 茅ヶ崎自治会
委 員	原 京子	茅ヶ崎小学校区 青少年育成推進協議会
委 員	加藤 大嗣	東海岸地区体育振興会
委 員	佐藤 良一	海岸地区コミュニティセンター 管理委員会
委 員	町田奈津美	地域包括支援センターあい
委 員	山本 俊夫	ボランティアセンター海岸
委 員	小島 茂	推薦委員
委 員	山田 秀砂	推薦委員
委 員	登尾 泉美	推薦委員
委 員	飯田 誠一	公募委員
委 員	伊藤 渚生	公募委員
委 員	池田 裕	公募委員

2020年度決算報告・2021年度予算

【収入】 (単位：円)		
項 目	2020年度決算	2021年度予算
前年度繰越金	3,283	5,589
補助金	577,600	538,000
分担金	2,304	0
助成金	0	2,500,000
その他	2	1
計	583,189	3,043,590
【支出】 (単位：円)		
項 目	2020年度決算	2021年度予算
事務費	46,024	30,000
会議費	48,733	50,000
広報啓発費	24,588	50,000
事業費	113,092	105,000
負担金	12,000	15,000
うみかぜテラス使用料	9,600	90,000
広報紙発行委託料	230,500	198,000
広報掲示板設置事業	0	2,502,500
小計	484,537	3,040,500
市への返還金	93,063	0
次年度繰越金	5,589	3,090
計	583,189	3,043,590

2021年度事業計画

	事業項目	実施予定日	内 容
1	海岸地区まちづから協議会の運営に関する こと	通年	○ 海岸地区まちづから協議会の目的を達成するための事業等について、 役員会・運営委員会等で随時協議していく。 ○ 総会、役員会、運営委員会の開催のほか運営に関する事務
2	広報活動の強化検討	通年	○ ホームページの運営、広報紙発行(6/15、12/15予定)及び掲示板 の維持管理・活用及び新規設置に関する協議をしていく。
3	海岸地区感震 ブレイカー設置事業	通年	○ 大規模地震時の通電火災対策のため、各自治会が実施している啓発 及び新規設置等に関する必要な支援を実施する。
4	広報掲示板設置事業	通年	○ コミュニティ助成を活用した新規6か所への設置を実施する。 (2018年度4基・2019年度3基：市特定事業費) (2021年度7基：コミュニティ助成にて6基、自治会1基)
5	盆踊りの開催(中止)	8月15日	○ 地域住民の連帯感を高め、地震などの災害時に自助・共助の力を発 揮するため実行委員会を設け、盆踊りを開催する。
6	海岸地区市民集会	10月2日	○ 地区住民が感じている茅ヶ崎市の課題等について、行政と協議するこ とを目的に開催する。
7	海岸地区防災訓練	10月中	○ 実行委員会を設け、運営方法を協議していく。
8	海岸地区新年会	2022年 1月15日	○ 実行委員会を設け、実施計画を協議していく。
9	梅まつり	2022年 2月11日	○ 実行委員会を設け、茅ヶ崎南地区まちづから協議会との共催をより積 極的に実行計画を協議していく。

海岸コミセン運営移管について

今年の4月から、「海岸地区コミュニティセンター」(以下、海岸コミセン)は、海岸地区まちぢから協議会が管理運営を受託することになりました。

海岸コミセンは1986年4月23日に開設され、本年35周年を迎えることができました。この間、利用されている各団体・サークルの方に発表の場を提供するほか、幅広い分野の方々による講演会、施設見学会などさまざまな文化的な企画も実施しています。しかしながら社会情勢の変化、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、地域の利用者の皆様が一層、安心して使用できる施設が求められています。

海岸コミセンの運営は開設当初から、管理委託制度で運営してきましたが、地方自治法の改正に伴い、2005年度から指定管理者制度に移行しました。今年度の指定管理者の改定に際し、海岸地区まちぢから協議会と海岸コミセンの密接な関係から、海岸地区まちぢから協議会を指定管理者とする案がでました。

海岸地区まちぢから協議会(以下、海岸まちぢから)と、海岸コミセンとの関係を再構築する目的で、昨年6月から、海岸まちぢからから丸山副会長、今泉書記、海岸コミセンから山田前会長、佐藤会長、柴田副会長、市民自治推進課の窪田氏が参加してワーキンググループを作り、約20回のミーティングを実施しました。ここで海岸コミセンの基本的運営の確認、各規約、各規程の改定案を作成しました。その結果、市指定管理者選定等委員会の評価を得て、本年4月から海岸まちぢからが海岸コミセンの指定管理者となることが決定しました。

海岸コミセンが、これまで培ってきた事業実施のノウハウやアイデアを、海岸まちぢからの事業や組織運営に還元させることで、両団体の今後のより良い活動に活かしていこうと考えます。

管理運営の受託者は変わることになりましたが、新たに「管理委員会」を設け、海岸まちぢから協議会から独立して管理・運営することになります。したがって利用者の皆様には今までどおりのサービスを提供させていただきます。海岸コミセンは、市内11カ所ある地域集会施設のうち、規模は最小の施設ですが、利用者の方との距離が近く、地域との関係性や繋がりを基盤とし、「狭いながらも楽しい我が家」と感じていただけるような場の構築に務めてまいりますので宜しくお願いいたします。(海岸コミセン 会長 佐藤 良一)



2階大ホール



海岸コミセン外観



1階小ホール

編・集・後・記



まちぢから協議会は、人と人をつなぎ「コミュニティーを創造」します

- ・防災訓練を超える・「近助」の力に注目
- ・向こう三軒両隣は「最も身近な運命共同体」
- ・目が合ったら・・ゴミ出ししながら「こんにちは!!」
- ・あの人がふっと気にかかるとき・・新しい「コミュニティーが誕生」する!

最小コミュニティーが思いやりでつながって、明るく優しい茅ヶ崎になって行きますように! みんなで楽しく頑張っていきましょう (H.Y.)

